

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第4週の発生動向

□ 全数報告の感染症（4週までに新たに届出のあったもの）

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：報告なし。
5 類感染症：クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、梅毒 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	男	尿路結核症	排尿痛
		日南	70歳代	男	肺結核及び結核性胸膜炎	咳、痰、発熱、胸水貯留
5類	クロイツフェルト・ヤコブ病	都城	60歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度：ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路症状、視覚異常、無動性無言状態、記憶障害、精神・知能障害、筋強剛
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	70歳代	女	—	ショック、腎不全、軟部組織炎、全身性紅斑性発疹、中枢神経症状
		都城	0~4歳	女	—	ショック、DIC、軟部組織炎
	梅毒	宮崎市	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	硬性下疳、鼠径部リンパ節腫脹、梅毒性バラ疹
		延岡	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	左鼠径部リンパ節腫脹、圧痛
高鍋	30歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	右頸部リンパ節腫脹		

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 3,519 人(定点当たり 70.5)で、前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 974 人(16.8)で、前週比 105%と増加した。小林(25.0)、延岡(22.9)、日向(22.8)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【インフルエンザ】

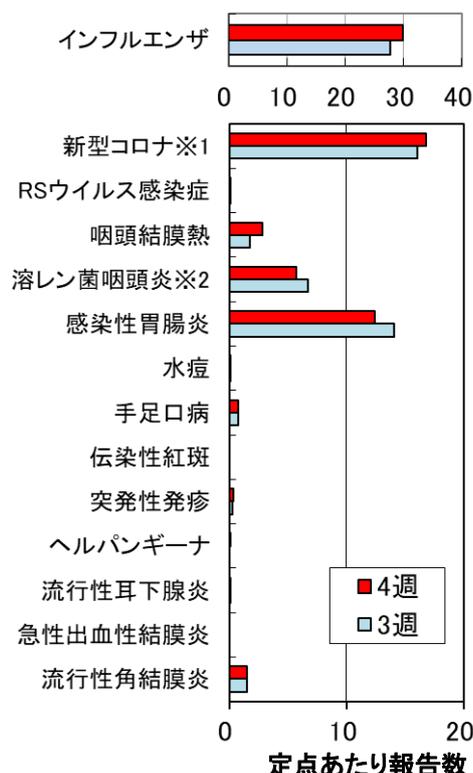
報告数は 1,732 人(29.9)で、前週比 107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(19.2)の約 1.6 倍であった。中央(41.5)、宮崎市(37.3)、都城(36.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

【咽頭結膜熱】

報告数は 101 人(2.8)で、前週比 160%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.52)の約 5.4 倍であった。中央(16.0)、小林(3.7)、宮崎市(3.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

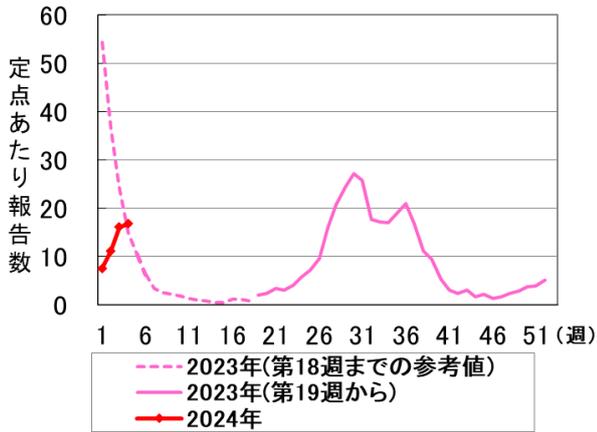
《前週との比較》



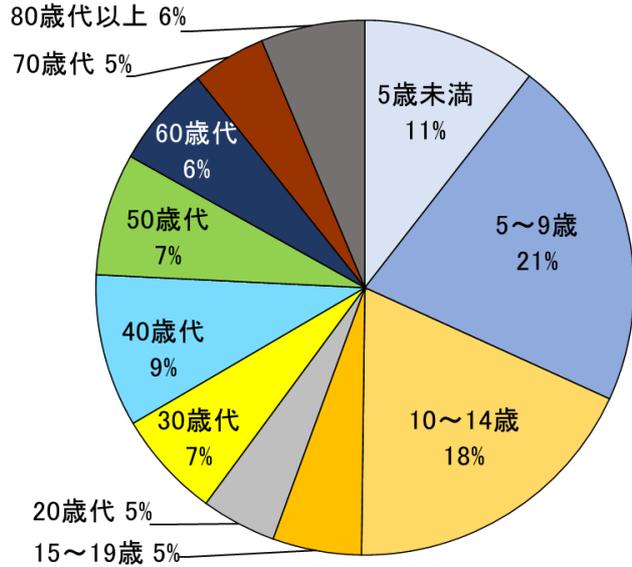
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

新型コロナウイルス感染症 発生状況

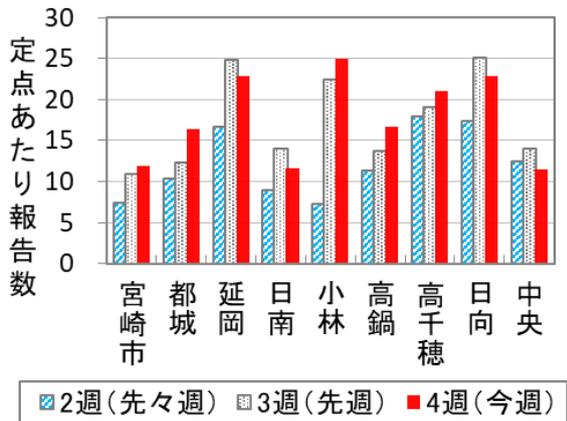


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第4週)

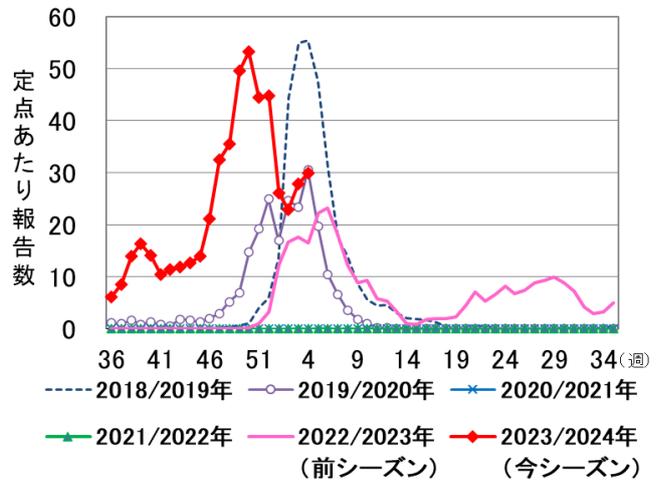


※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

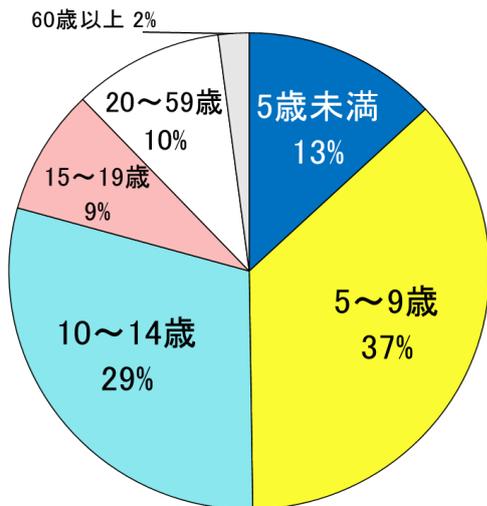
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



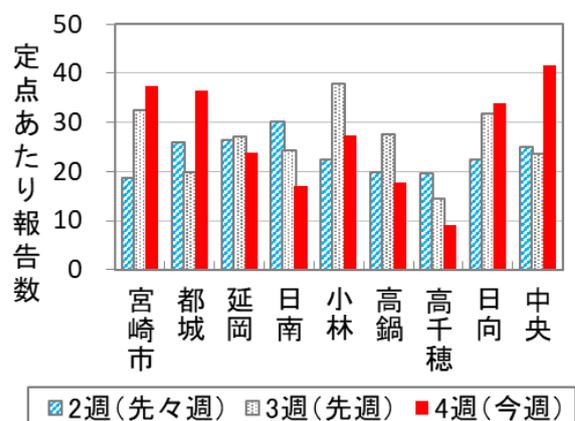
インフルエンザ 発生状況

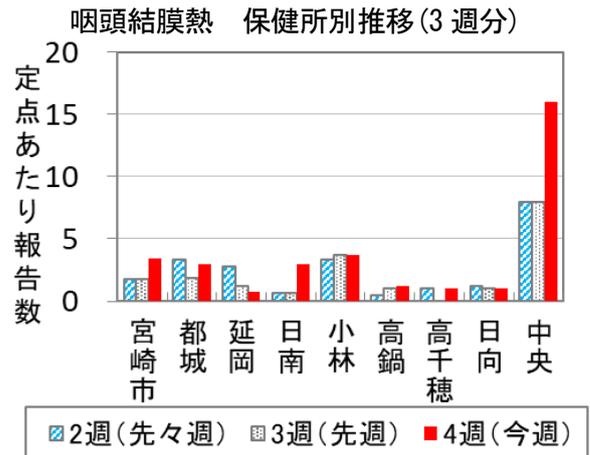
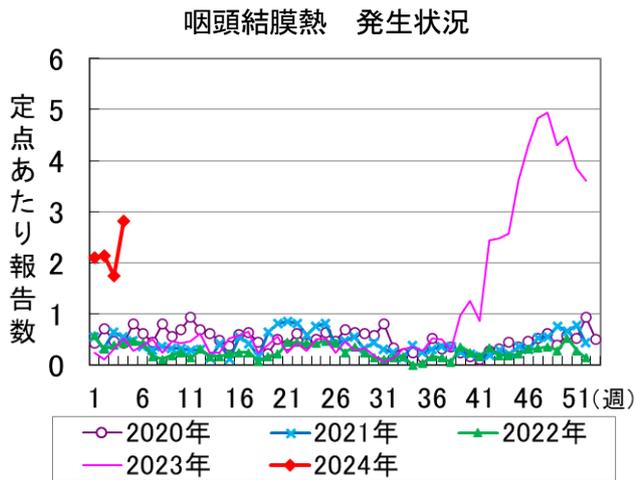


インフルエンザ年齢群別グラフ(第4週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)





★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(37.3)、咽頭結膜熱(3.4)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(9.8)
都城	インフルエンザ(36.4)、咽頭結膜熱(3.0)
延岡	インフルエンザ(23.7)
日南	インフルエンザ(17.0)、咽頭結膜熱(3.0)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(12.7)
小林	インフルエンザ(27.3)、咽頭結膜熱(3.7)、 感染性胃腸炎(23.0)
高鍋	インフルエンザ(17.7)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(34.0)
中央	インフルエンザ(41.5)、咽頭結膜熱(16.0)、 感染性胃腸炎(26.0)、手足口病(6.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

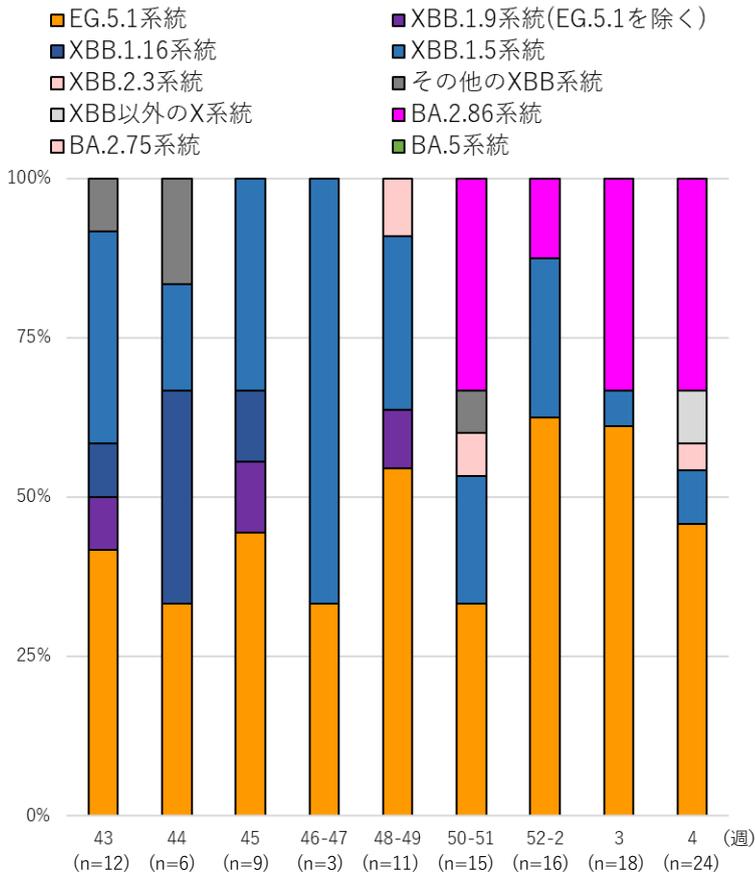
- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・手足口病(5)

* 流行注意報レベル基準値*

- ・インフルエンザ(10)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第4週でBA.2.86系統は約33%、XBB系統が約58%を占め、EG.5.1系統（XBB.1.9.2の子孫株）が約46%を占めた。

※BA.2.86系統はBA.2系統の亜系統で、スパイクタンパク質はBA.2系統に比較して30以上、XBB.1.5系統に比較して35以上のアミノ酸の違いがある。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBBはBJ.1（BA.2.10.1系統）／BM.1.1.1（BA.2.75.3系統）の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多い場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスのPCR陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

全国 2024 年第 3 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	230 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	34 例				
4類感染症	E型肝炎	17 例	A型肝炎	2 例	つつが虫病	14 例
	デング熱	1 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	38 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	1 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	11 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	43 例
	後天性免疫不全症候群	12 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	17 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	3 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	50 例	水痘(入院例)	4 例	梅毒	184 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3 例	百日咳	7 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比134%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

インフルエンザの報告数は87,318人(17.7)で前週比136%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(15.3)の約1.2倍であった。沖縄県(32.3)、宮崎県(27.8)、福岡県(25.9)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は60,268人(12.2)で前週比136%と増加した。福島県(19.0)、茨城県(18.3)、愛知県(17.3)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2024年 第04週(01月22日～01月28日)

疾病名		第03週	第04週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1613	1732	597	364	166	85	109	106	18	204	83
	定点当り	27.81	29.86	37.31	36.40	23.71	17.00	27.25	17.67	9.00	34.00	41.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	932	974	190	164	160	58	100	100	42	137	23
	定点当り	16.07	16.79	11.88	16.40	22.86	11.60	25.00	16.67	21.00	22.83	11.50
RSウイルス感染症	報告数	1	3				2		1			
	定点当り	0.03	0.08	0.00	0.00	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	63	101	34	18	3	9	11	5	1	4	16
	定点当り	1.75	2.81	3.40	3.00	0.75	3.00	3.67	1.25	1.00	1.00	16.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	242	205	98	29	14	38	3	8		8	7
	定点当り	6.72	5.69	9.80	4.83	3.50	12.67	1.00	2.00	0.00	2.00	7.00
感染性胃腸炎	報告数	507	448	117	76	34	29	69	59	9	29	26
	定点当り	14.08	12.44	11.70	12.67	8.50	9.67	23.00	14.75	9.00	7.25	26.00
水痘	報告数	2	4	2	2							
	定点当り	0.06	0.11	0.20	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	28	28	4	8		3	1	5		1	6
	定点当り	0.78	0.78	0.40	1.33	0.00	1.00	0.33	1.25	0.00	0.25	6.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	11	12	4	2		1	2	1		2	
	定点当り	0.31	0.33	0.40	0.33	0.00	0.33	0.67	0.25	0.00	0.50	0.00
ヘルパンギーナ	報告数		1									1
	定点当り	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.03	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	9	3	5	1						
	定点当り	1.50	1.50	1.00	2.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～4週 保健所受理分)

2類感染症	結核	6例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1例		
4類感染症	つつが虫病	11例	レジオネラ症	2例
5類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例(1)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例(2)
	梅毒	18例(5)	侵襲性肺炎球菌感染症	1例

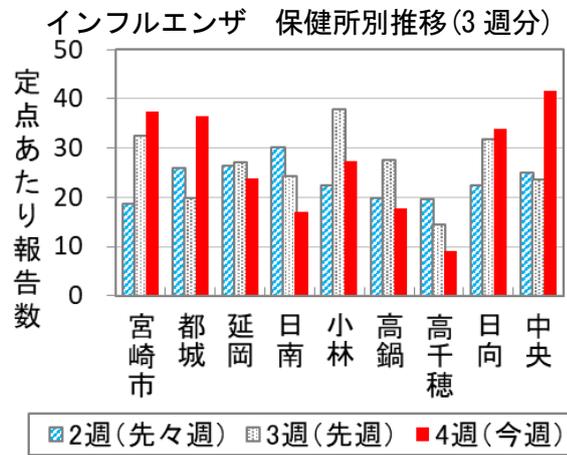
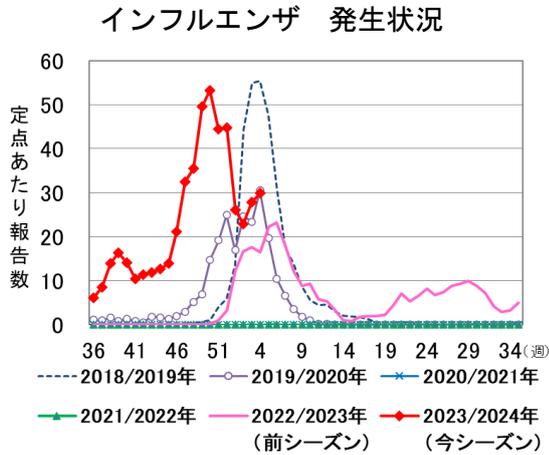
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報《県内第4週、全国第3週（再掲）》

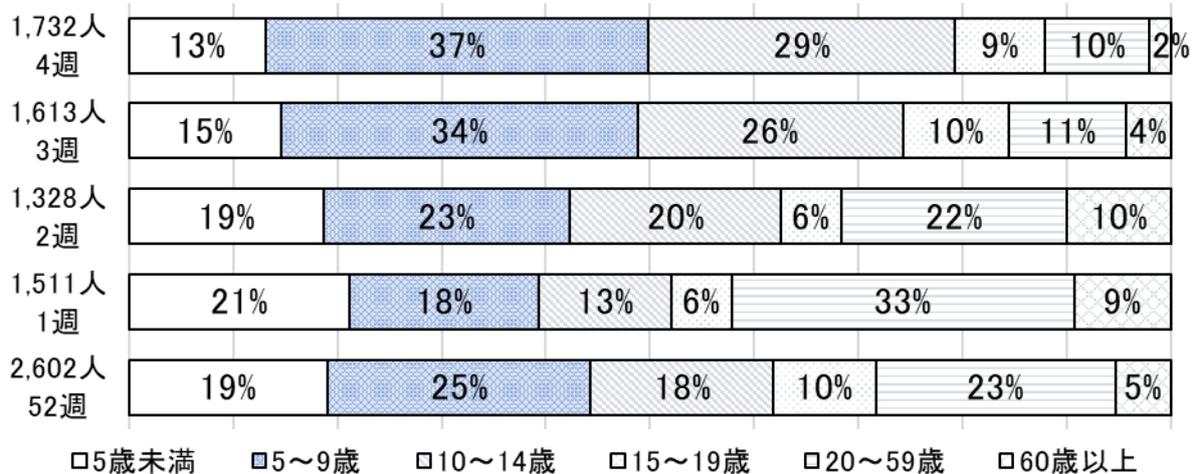
□ 県内第4週インフルエンザ発生動向

1月22日～1月28日までの1週間で1,732人(29.9)の報告があった。前週比107%と増加し、例年同時期の定点あたり平均値* (19.2)の約1.6倍であった。

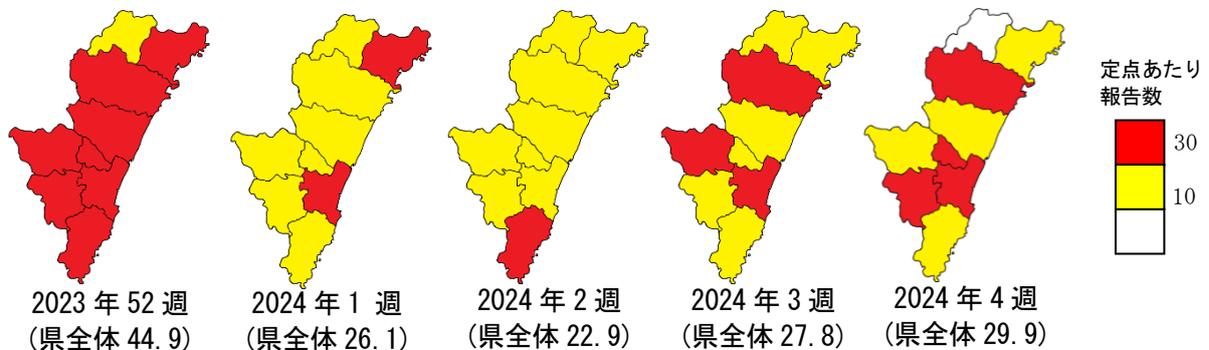
* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



年齢群別割合の推移(2023年第52週～2024年第4週)



保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2023年第52週～2024年第4週



□ 全国第3週インフルエンザ発生動向

1月15日～1月21日までの1週間で87,318人(17.7)の報告があった。前週比136%と増加し、沖縄県(32.3)、宮崎県(27.8)、福岡県(25.9)からの報告が多かった。年齢群別では5歳未満が全体の17%、5-9歳が30%、10-14歳が21%、15-19歳が8%、20-59歳が19%、60歳以上が5%であった。